



もっと自由に遊ばせたい

児童館を運営していく上で注意していることは何ですか？
 「なるべく子供たちに強制したくないし、自由に遊ぶことを基本にしていますから、クラブ活動方式のようなことは避けています。無理におしつけないことですね。ただし、プレールームでは、遊びの時間割を作って、ルールを守ることや協調性などを育むようにしています」

お母さんと児童館

午前十時からの「おやこひろば」で、お母さんたちに聞いてみました。
 「児童館のいいところは、母親同士つながりですね。保育所か幼稚園のような感覚で来ています。それに、先生がいいんです。体を使って子供たちと遊んでくれますし、絵本を読むのとっても上手で。人間的に信頼できるんです。子育ての相談をすることもあります」
 「うちの子は2歳なんですけど、留萌に引っ越して来た時、わたしも周りに知り合いがないし、近所に子供も少なくて困っていたんです。」

児童館のことを聞いて自分から来てみたんです。子供も楽しみにしています。児童館へ来る日は、自分でお出かけの用意をするんです。

一人でいた時は、子供と一対一でストレスがありました。先生やほかのお母さんと接していて、自分一人で悩むことがなくなりました。感謝しています」

「ここには家では遊べない広さがありますよね。体を使った遊びができる。先生も親切で、必ず声をかけてくれるんですよ。周りに同年代の子供がいなくて、一人で遊ぶことが多かったんですが、ここへ来てみたら、子供もお母さん同士も仲良くなって、幅広い友だちができました。一人で悩んでいるお母さんがいたら、おいでおいでって誘いたくなりますね」

みんなのオアシス——児童館。子供は子供らしく成長し、お母さんもだんだんと母親になっていく。そういう出会いの場のように

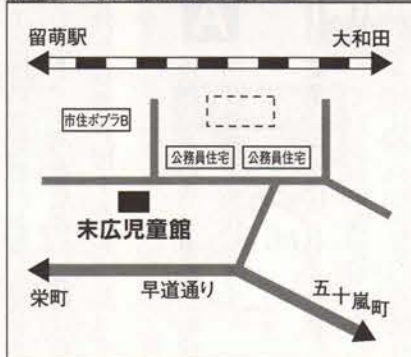
寿児童センター

寿町3丁目 ☎43-1193



末広児童館

末広町1丁目 ☎42-4282



住之江児童センター

住之江町3丁目 ☎42-4381



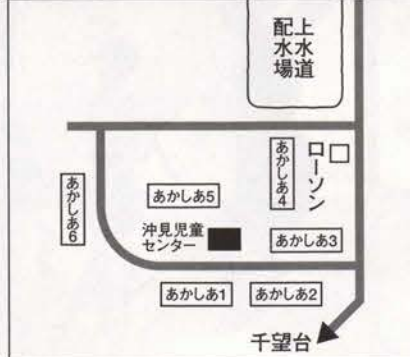
春日児童センター

春日町1丁目 ☎42-3870



沖見児童センター

沖見町5丁目 ☎42-0072



千鳥児童センター

千鳥町3丁目 ☎42-2226

